

■災害時対応実地訓練を実施しました！

10月25日(日)、松江市の(株)中筋商事(中筋豊通社長)浜乃木給油所において「災害時対応実地訓練」を実施しました。

訓練には森山康郎部長など多くのスタッフが参加され、うち3人が実地訓練を行いました。訓練実地にあたっては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、できるだけ少人数の参加とするなど、感染症対策に配慮した訓練とし、松江地区5名をはじめ合計7名の視察者がありました。

冒頭のあいさつで大賀誠一理事長は、「最近では自然災害が多発しており、災害時のエネルギー供給の”最後の砦”としての役割を果たすための準備が必要です。本日の訓練で学んだことを各SSに持ち帰り、全員で共有してほしい」と要請されました。

訓練では、まず講師の林康郎氏(株)ジャパンリスクソリューションコンサルタントが緊急用発電機の稼働、車両への給油、発電機の保守までの手順などについて説明し、その後、実地訓練に移りました。

災害発生による停電を想定し、実際に緊急用発電機を稼働させ、電源の切り替え、車両への給油、手書き伝票にサインを受けるまでの一連の流れを確認しました。

訓練終了後の座学は、新型コロナウイルス対策を考慮し、会場では行わず、その代替えとして、「災害対応実地訓練」テキスト、解説DVDを配布し、アンケートにご協力お願いしました。

9月から打合せ、準備を進めてこられた(株)中筋商事の皆様、大変お世話になりました。

また、視察に参加されました皆様、お疲れさまでした。



被害状況の確認を指示する矢野誠二所長(左端)とスタッフの鈴木崇広さん(右隣)



緊急用発電機を稼働させる鈴木崇広さん(右)



一般車両車に給油するスタッフの安部ゆかりさん



訓練の様子を見る視察者の皆さん



訓練の様子を見る視察者の皆さん